

西小だより

よく考え 仲間とともに やりぬく子

竹の節が伸びるように

校長 水野 聡

厳しい暑さがようやく峠を越え、少しずつ秋の空気が漂い始めると共に、20分休みや昼休みに運動場で元気に遊ぶ子どもたちの姿が戻ってきました。

さて、9月5日（金）、体育館で運動会に向けた結団式を行いました。体育委員会から今年度のスローガン「全力 ～輝く 燃え上がる 悔いのない～」が発表され、その目標に向けて全校児童で高みを目指すことを確認しました。また、赤白応援団長による決意表明と応援合戦の披露順を「あっち向いてホイ」で決めました。その後、全応援団員が分かれて1～6年の各教室へ行き、決起の第一声を上げ、運動会の取り組みがスタートしました。そして、この西小だよりを書いている現在（9月下旬）、運動会で披露する演技や競技の練習が始まりました。係活動の話し合いや分担も始まり、正にこれからの2週間は運動会一色の雰囲気となります。この時期は全校児童と職員が皆同じ目標に向けて全力で高まっていきます。学校生活の1年の中で、最も意志が結集する時期でもあり、子どもたちの成長にひととき大きな



‘伸び’が見られる時でもあります。この子どもたちの‘伸び’を竹の節で表現することがあります。竹は約60個の節がわずかに2～3か月で10～20メートル程に成長すると言われていきます。短い期間で急成長するにも関わらず、厳しい自然の風雨にも折れることなく耐えることができるのは、その一つ一つの節は太く硬いが、節間は細いながらもしなやかな繊維となるからです。改めて運動会に向けた子どもたちに目を向けると、例えば学年演技や応援の練習では、うまくできないところで悩み、考えたり、互いに見合い、教え合いながら、時には言い合いながら何度も何度も練習し‘やりきる’というゴールを目指します。係活動では、一大行事の運営のために一人一人が役割を担い、個人として、また仲間と協力して‘やりきる’ことで責任感が育ちます。中には不安を抱える児童がいるかもしれませんが、一大行事だからこそ、それが自身を‘鍛え’成長する時でもあります。正に‘竹の節の如く’です。ぜひ、運動会では、勝敗や上手か否かとは異なる視点でも見てもらえると、そこに至るまでの頑張ってきた姿を見て感じるができると思います。ぜひ子どもたちの活躍を見に来てください。よろしくお願いします。

運動場の草抜きボランティア



9月初め、児童会運営委員会や高学年の児童が登校後、自主的に草抜きを始めました。‘きれいな運動場で運動会をやりたい’‘来る人たちに気持ちよく見てもらいたい’という思いの表れの行動です。今ではその輪が下級生にも広がり、たくさん子どもたちがボランティアに励んでいます。とてもきれいなトラック&フィールドになりました。